

特集

未来の松浦を支える

大きなチカラに！

「松浦市子ども議会」

「松浦市子ども議会」開催

松浦市市制10周年記念事業として8月3日、松浦市子ども議会が市議会議場で開催されました。

子ども議会は、児童生徒の郷土愛を育て、議会や政治および行政や地方自治についての興味・関心を高めるために、「住みたい・住み続けたいまち 松浦」をテーマとして開催されました。

子ども議会は、「小学生の部」と「中学生の部」に分けて行われ、「小学生の部」では志佐小学校の黒川太陽さん、「中学生の部」では志佐中学校の小森啓史さんが議長を務めました。

合併後初めて開催された子ども議会。市内の小学生19人、中学生15人が子ども議員になり、子どもの視点から市の将来や身近な問題など、市政に対する提言や質問を行いました。松浦市の将来を担う子どもたちの声を、ぜひ、こゝ読ください。

問 教育委員会学校教育課

☎内線347

子ども議会に向けて

市制10周年記念事業として開催された松浦市子ども議会。8月1日には、子ども議会のリハーサルが行われました。各小中学校から代表として子ども議員に選ばされた児童・生徒34人は、本番さながらに議場で行われたリハーサルに臨みました。

子ども議員たちは、自分のネームプレートが置かれた議員席に着座し、質問や登壇の方法について説明を

受けました。本物の議会と同様に議事進行される子ども議会。どのように質問と答弁が行われて議会が進められていくのか、子ども議員たちは本番に向けて、しっかりと確認しました。

議員席の後方や傍聴席では、各学校の先生たちが、リハーサルに臨む児童・生徒の様子を心配そうに、そして頼もしそうに見守り、助言をしたり、称賛したりしました。



今西 誠司 教育長

子ども議員の皆さんには、「住みたい・住み続けたいまち 松浦」にするため、一生懸命に考えていただき、松浦市が今以上に魅力のあるまちになるために大切なこと、必要なことを提案していただきました。皆さんの松浦を思う熱い気持ちとアイデアを、今後のまちづくりに生かしていきたいと思えます。



高橋 勝幸 市議会議長

子ども議会の経験は、本当に得難いものだと思います。今回、子ども議員の皆さんが提案したことが、今後、どのように反映されるか、注意深く市政を見ていってください。また、議会の在り方や地方自治についても勉強し、松浦市民としての自覚をもつて郷土を愛する心を育んでいただきたいと思います。



友広 郁洋 市長

松浦市子ども議会は、児童生徒の皆さんが郷土を愛する心を育てるとともに、議会や市役所の仕事について、興味・関心を高めてもらうことを目的として開催します。子ども議員の皆さんは、今、考えていること、思っていること、感じていることを堂々と質問してください。私たちも、分かりやすく答弁していきます。

